6 横浜国立大学

Yokohama National University

総合優勝をめざして

横浜国立大学フォーミュラプロジェクト
Yokohama National univ. Formula Project
http://ynfp.jp/

Presentation プレゼンテーション

マシン名：－

私たち横浜国立大学フォーミュラプロジェクトは、チーム発足当初から「パワフルな４ 気筒エンジン」、「伝達ロスの少ないシャフトドライブ」、「軽量･低重心な10インチホイール」というパッケージングで参戦していました。今年度もそのパッケージングを踏襲し、かつ総合優勝のために周回走行で求められる性能をそれぞれ高め、バランスよく実現することが必要であると考え、設計のコンセプトを『加速・旋回・制動性能の高レベルでの実現』としました。

シャシーとしてはタイヤ性能を最大限発揮でき、高い操作性が得られるサスペンションを目標として設計を行ないました。その目標を達成しうるジオメトリーを設計し、その上で設計したジオメトリーを実現しうる剛性を持った部品設計を行ない、軽量化や製作性・整備性・信頼性の向上にも取り組みました。

パワートレインでは昨年度の大会分析より低回転でのトルクの向上を行ない低速域からトルクの立ち上がる扱いやすいエンジン性能とすることを目標としました。また今年度エンジンをより軽量かつコンパクトなものに変更したので信頼性の向上にも重点を当て設計を行ないました。

さらに、新たな取り組みとしてアクセラレーションと周回１位を狙いディフューザーを搭載し、さらなるタイム向上をめざしました。

これらの取り組みから昨年度より進化したマシンとなりました。

Participation report 参戦レポート

今年度は車両のパッケージングやレイアウトに関しては昨年度のものを踏襲しパーツのグレードアップを行ない車両としての完成度を高め優勝をめざし活動して参りました。日程面での改善を行いマシンの早期完成、ドライバーの習熟を行ない大会に臨みました。

大会２日目に行われる静的審査は大会当日まで資料の準備や発表の練習をしておりました。しかし、大会前までの準備不足により上位チームと差のついた結果となってしまいました。細部までクオリティを追求することの重要性を実感しました。

大会３日目から動的審査が行なわれました。その３日目の朝、練習走行中にマシンがクラッシュしてしまい足まわり部品を急きょ再製作しなければならなくなりました。修理工房の方のご協力もあり修復することができましたがアクセラレーション、スキッドパッドに間に合わず点数を大きく落としてしまう結果となりました。ドライバーの習熟不足、予備部品を製作することを怠ったことが原因なので来年度はこのようなことがないよう努めて参ります。

しかし、その後のオートクロス、エンデュランスでは無事完走することができ、総合では８位という結果となりました。今年度はトラブルに見舞われ本来の実力を発揮することができず非常に悔しい結果となってしまいました。

来年度チームでは今年度重視したチームマネジメントを引き継ぎつつ、総合的なチームのレベルアップを行ない優勝に向かって活動してもらいたいと思います。

最後になりますが、応援して頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

今回の総合結果・部門賞

●総合８位

Profile チーム紹介・今までの活動

横浜国立大学フォーミュラプロジェクト（YNFP）は、2003年11月に有志の工学部生４名によって立ち上げられました。チームメンバーは学部２、３年生を中心に、文系理系や学科を問わずさまざまな人が集まった構成になっています。目標は日本での総合優勝、そして海外大会への参戦です。

Team-member チームメンバー

木南 卓也（CP）

伊藤 光一郎(FA)、松澤 卓(FA)、
和田 大志(FA)、植村 智明、加納 智宏、
小市 萌子、高倉 晃平、中崎 泰平、塙 祥吾、
松山 仁志、秋山 直輝、井畑 知明、貝沼 隆志、
笠原 彬宏、木下 祥実、永渕 恭佑、植松 亮裕、
岡本 優、佐藤 駿紀、鈴木 祐太郎、中田 亜紀、
星野 亮政、堀 雅敬、本田 進、松島 敬一、
三枝 恵司、三井 玲、山本 康平、渡部 愛子

Sponsors スポンサーリスト

イグス、イブリダセル、S-GRID、エヌ・エム・ビー販売、
FC デザイン、NTN、エーモン工業、オートデスク、
日本自動車大学校、アイ・アール・エス、IDAJ、
コイワイ、イシイ精機、開明製作所、小松製作所、
キノクニエンタープライズ、キャムプレーン、
ジィーエーティー、ショウワ、シンクフォー、タシロ、
ダイナテック、電商会、東日製作所、
東邦通信システムズ、中西製作所、ネクスト、富士精密、
ブレインアンドトラスト、マキタ、ミスミグループ本社、
ミツトヨ、関東工業自動車大学校、菊地シート工業、
協和工業、呉工業、サイバネットシステム、三立化工、
三和メッキ工業、試作工房電、新星機工、
ジュニアモーターパーク クイック羽生、住友軽金属工業、
住友電装、スーパーオートバックス横浜みなとみらい、
ゼット・エフ・ジャパン、ソリッドワークス、
田畑ラヂエーター、トルンプ、ナガセケムテックス、
ニイガタ、日清紡ケミカル、日信工業、日本精工、
日本発条、日本ドライケミカル、本田技研工業、
マグナ･インターナショナル･ジャパン、武蔵ホルト、柳瀬、
神奈川厚板、小林技研工業、樹脂リードモデル、
シンコー、メックテック、安久工機、山崎技研工業、
横浜高周波工業、テクノイル・ジャポン、
横浜国立大学生産工学科同窓会

Team-Movie http://www.jsae.or.jp/formula/jp/12th/movie/6.html